

生成AIを活用 映像制作に挑戦

松本秀峰 1～5年生40人

松本秀峰中等教育学校(松本市埋橋2)で11日、生成AIを活用するセミナー「DXハイスクール・生成AI×映像編集1デイプログラム」が開かれた。同校の1～5年生40人が、対話型AIを活用した映像制作に挑戦した。(小口浩二)

り、15秒間のCM作成を生徒が行った。自分が作りたいCMのストーリーや動画内容などを生成AIに入力し、動画編集ソフトを使い一本のCMに仕上げた。

架空の印刷所のCMを写真のような内容で作成した坂田美虹さん

(16)は「会社の広報の仕事に興味がありC

Mを作りたかった。短のが難しかった」と感じ、動画に思いを込める想を話した。作成した



生成AIで作成したCM動画を説明する生徒

CMは保護者が見守る中で行われた上映会で流された。生徒会長の田中晴大さん(16)は「自分の動画が流れるのは緊張したが、他の人のCMも見られて良かった」と話していた。

同校は本年度、デジタル分野の人材育成を推進する文部科学省の「高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)」に選ばれ、ICT(情報通信技術)を使った探究活動を行っている。今回もその一環でセミナーを開催した。

中高生のIT教育な イステック社(東京都)の社員が講師とな